帯単元「『２年〇組の思い出かるた』を作ってあそぼう！」（全 12ｈ）

低・中学年分科会 単元名「思い出かるたを作ってあそぼう！～ぴったりなことばを見つけよう～（仮）」（全６時間）単元構造図

ねらい：２学期の学校生活について、様子が詳しく分かるように、友達と確かめ合いながら言葉や表現を選択して短い文を書く。

光村図書		１学期				２学期				３学期		
		４月	５月	６月	７月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
「思い出かるたを作ってあそぼう!」年間計画				「たのしかったことをかるたにしよう」(2h) かるた遊び･かるた作りを経験する			「ぴったりなことばを見つけよう」(6h) 作ったものを見直し、言葉を選んでかるたを作る				「できるようになったよ!かるたを作ろう」(4h) 言葉を吟味してかるたを作る	
常時活動		日記		言葉カード かるたで遊ぶ								
２年	話すこと･聞くこと	じゅんばんにならぼう	ともだちはどこかな		あったらいいな、こんなもの	ことばでみちあんない		そうだんにのってください				楽しかったよ、二年生
	読むこと	ふきのとう	たんぽぽのちえ	いなばの白うさぎ スイミー	ミリーのすてきなぼうし	雨のうた みの回りのものを読もう どうぶつ園のじゅうい	お手紙	紙コップ花火の作り方 せかいーの話	みきのたからもの	ねこのこ/おとのはなびら/ はんたいことば	ロボット	スーホの白い馬
	書くこと 言葉	絵を見てかこう つづけてみよう 春がいっぱい 日記を書こう	かんさつ名人になろう	同じぶぶんをもつかん字 かん字のひろば メモをとるとき	こんなもの見つけたよ 夏がいっぱい	書いたら、見直そう かたかなのひろば ことばあそびをしよう ようすをあらわすことば	かん字のひろば 秋がいっぱい なかまのことばとかん字 主語と述語に気をつけよう	おもちゃの作り方をせつめいしよう にたいみのことば、はんたいのいみのことば	お話のさくしゃになろう 冬がいっぱい	かたかなで書くことば ことばを楽しもう	見たこと、かんじたこと カンジーはかせの大はつめい すてきなところをつたえよう	かん字の広場 二年生をふり返って
	取り上げたい言葉	・ささやいて ・あたりはしんとしています ・ふんばっている ・竹やぶも雪もふきのとうも ・はるかぜは大きなあくび ・もっこり ・ほへふひ はははは	・ぐったりと ・どんどん太らせる ・らっかさんのように ・ふわふわととばず ・せのびをするように ・ぐんぐんのびていく ・できるからです	・まっくろ ・ミサイルみたいに ・だんだん元気をとりもどした ・にじ色のゼリーのような ・見えない糸でひっぱられ ・考えた、いろいろ考えた、うんと考えた	・つるつるしていて ・「かしこまりました」 ・てんじょうを見上げてしまいました ・ほほえみかける ・ぼうしなんかどこにもー ・みんみんなく ・きらきらかがやく	・とんとん、ぴちぴち、つんつん、しとしと ・そっと当ててみる ・大いそぎで ・雨がはげしくふる、ざんざんふる、たきのようにふる、バケツをひっくりかえしたようにふる	・ふしあわせ、しあわせ ・ふたりとも ・あきあきしたよ ・そんなことあるものかい ・親愛なる ・すっきりはれて ・やまは ごきげん ・くもを だっこして	・まず、つぎに、それから、さいごに ・話す、言う（似た意味） ・うつくしい、きれいな ・大きい、小さい（反対の意味） ・かぶる、きる、はく、ぬぐ ・あんしん、ほっとする ・はらはらする、ひやひやする	・かがんで ・おそるおそる ・むねがどきどきしました ・目を丸くする、目をかがやかせる ・風がふきぬけるような音 ・ぐんぐんと、ひらひらと ・ゆきやこんこ	・あくび ゆうゆう ・あまえて ごろごろ ・たまご ころころ ・けいと もしゃもしゃ ・しかられて しゅん ・おとのはなびら ・おとのかだん	・かしこいきかい ・つぎつぎに ・バラの花みたいな ・のっそりのっそり	・おとなにまけないくらい ・しんぱいでたまらない ・にこにこしながら ・雪のように白く ・はっと目をさます ・はねおきる ・風のようにかけだす ・聞く人の心をゆりうごかす

学習活動

出合う

１題材の設定、情報の収集
２学期の思い出を出し合い、かるたの読み札を作る。

①１学期に作成した「思い出かるた」で遊び、感想を出し合う。
②２学期の学校生活の思い出を出し合う。
③題材を選び、かるたの読み札と絵札を作る。（多作する）

２学習課題の設定　単元の見通しをもつ
単元の学習課題を設定し、学習計画を立てる。

①クラス全員で１箱のかるたを作ることを知り、今後の学習の見通しを考える。
②教師自作のかるたの読み札を比較して、「マイベストかるた」の条件やベストにする方法を考える。
③単元の学習課題を設定し、学習計画を立てる。

学習課題：思い出にぴったりなことばを見つけよう(仮)

親しむ

３題材の設定、内容の検討
自分の書いた読み札を見直し、修正できそうな箇所を考える。

①自分の書いた読み札の中から、「２学期の思い出かるた」に入れたい出来事(題材)を選ぶ。
②出来事を選んだ理由を書く。
③読み札で言葉や表現を変えたり付け足したりすると分かりやすくなりそうな箇所を考える。
(1)自分で考える。(2)友達に相談する。

４考えの形成、記述（本時）
様子が詳しく分かる文になることを意識して、言葉や表現を集めて選ぶ。

①自分の学習課題を確かめ、本時の学習の進め方を考える。
②様子や気持ちを表す言葉や表現を集める。
③集めた言葉や表現を比較し、読み札の文にふさわしい表現についてアドバイスし合う。
(1)友達に相談する。(2)クラス全体で表現や効果について考える。
④自分がぴったりだと思う言葉や表現を選ぶ。

５考えの形成、記述、推敲
読み札、絵札、説明の文を書き上げ、自分が伝えたいことが分かるか確かめる。

①自分の学習課題を確かめ、本時の学習の進め方を考える。
②前時に選んだ言葉や表現を確かめ、読み札の文を清書する。
③絵札と説明の文をかく。
④読み札と絵札、説明の文を合わせたときに、自分が伝えたいことが分かるかどうか確かめる。

生かす

６共有　振り返り
出来上がったかるたで遊び、感想を伝え合う。

①かるたの読み札や説明の文についての感想を伝え合う。
②出来上がったかるたで遊ぶ。
③様子を表す言葉や表現についての気付きや、「２学期の思い出かるた」を作って遊んだ感想を出し合い、単元の学習を振り返る。

豊かな言語生活

単元終了後の日常生活において
ア：新しく出合った言葉や言葉の意味について、興味をもっている。（言葉そのものへの興味・関心）
イ：経験したことを想起し、自分の伝えたいことが明確になるように言葉を選んで書こうとしている。（自己内対話）
ウ①：相手に伝わるかを意識しながら、言葉や表現を選んで書いたり話したりしようとしている。（他者とのコミュニケーション）
ウ②：相手の思いや考えを受け止めたり推測したりしながら、好意的な関係を築こうとしている。（他者とのコミュニケーション）

○児童の意識 ◎言葉による見方・考え方

○かるたを作って遊ぶと、そのときのことが思い出せるな。
○また、みんなで作って遊びたいな。
○２学期に学校でどんなことがあったか思い出そう。
○クラスでこんなことがあったよね。
○かるたにできそうなことがたくさんあるよ。どれをかるたにしようかな。
○かるたの読み札がいくつも作れたよ。
○２年〇組の思い出かるたが作れそうだね。

○一番いいかるたを選びたいな。
○自分の「マイベストかるた」はどれだろう。
○もっといいかるたにしたいな。
◎そのときの様子が分かるかるたにしたいな。
◎「ぷかぷか」って言葉で、浮いている様子がよく分かるな。
◎「力を抜いて」も、どうやったのかがよく分かる。
◎「大きな浮き輪みたいに」って様子が伝わる言葉だね。
○声に出して読んでみるといいかもしれない。
○もっと言葉を集めて考えてみたいな。
○そのときの様子が思い出せる文になっているか、友達にも聞いてみたいな。

○屋上で雲が動くのを見たときのことをかるたにしたい。
○みんなで雲が何に見えるか話して楽しかったんだ。
○楽しかった様子が分かるように書きたいな。
◎そのときにみんなが言ったことを付け足すといいんじゃないかな。
◎見たこと、聞いたこと、感じたことを入れて書くと様子が伝わるかな。
◎「～みたい」を使うと分かりやすいかもしれない。
◎「ドンドン」って音を入れてみるのもいいかも。

◎「くるくる」と「くるんくるん」は似ているけれど、ちょっと違うなあ。
◎「くるくるくるん」って言葉もいいね。
◎地面を蹴るときの音は「バン」と「トン」とどっちだろう。
◎「つかむ」じゃなくて「握る」の方がぴったりかもしれない。
◎「ぎゅうっと力を入れて」は「ぎゅうっと」だけでも伝わるかな。
◎私だったら〇〇って書くよ。
◎この言葉の方が分かりやすいと思うよ。
○友達に聞いたら使えそうな言葉が増えた。
◎一番大事な言葉はどれだろう。この言葉は使いたいな。

○給食をたくさんお代わりしたときのことを書いたけれど、これで伝わるかな。
◎こんな絵札にしたいのだけれど、この文で様子や気持ちが伝わるかな。
◎この言葉を使って書くことに決めた。絵札とも合っていると思うな。
○読みやすくするために、三行に分けて清書しよう。
○文にぴったりな絵を描きたいな。
○全部使うと文が長くなってしまうな。短い文で書くのも悩むなあ。
○説明の文にそのときの気持ちを書いておこう。
○いつの出来事か書いておくと、みんなが思い出せるかも。

○みんなで作ったかるたで遊んで楽しい。
○みんなで〇〇したときのことが思い出せたよ。
○あのときの私の気持ちが友達に伝わって嬉しい。
◎短い文だけど、ちゃんと様子が伝わってきた。
◎〇〇さんのこの言葉がいいなと思った。
○友達と一緒に文を考えてよかった。
◎どの言葉を使おうかなって考えることが大事だね。
◎同じことでも人によって書いている文が違うのがおもしろい。
○もっとたくさんの札を作ってみたい。
○一年生にも遊ばせてあげたいな。

知識及び技能

<語句をより理解するための方策>
その語句の　①有無　②言い換え
③経験の想起　④辞書的な意味
⑤動作化

(1)言葉ア　言葉の働き
○経験したことを伝えるための様々な言葉や表現があることに気付く。

(1)言葉オ　語彙
○身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにする。

言葉による見方・考え方を働かせる
○言葉や表現に着目し、友達と確かめ合いながら意味や効果を比較して、自分の伝えたい様子が明確になる言葉や表現を選択しようとすること。

<様子を詳しくする表現>
①思ったこと　②諸感覚で感じたこと　③順序
④会話　⑤比喩　⑥オノマトペ
⑦程度　⑧慣用句

自己調整力	○これまでの経験を思い出し、そのときの様子や気持ちを表す言葉や表現を集め、選択している。	○様子や気持ちを表す文にするために、言葉や表現を比較・検討し、判断・選択している。	○読み札の文が、伝えたい事柄を表すのにぴったりかどうかを考えている。	○自分が書いた文のよいところを見付けている。
他者との協働	○そのときの様子や気持ちを表す言葉や表現を友達と一緒に考えている。	○様子や気持ちを表す言葉や表現を友達と一緒に考えたり、友達の相談に応じて、どの言葉や表現が伝えたいことに合っているかを確かめ合ったりしている。		○友達が書いた文のよいところを見付けている。
評価	思･判･表Ｂ(1)ア 「書くこと」において、経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	知･技(1)オ 身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。	主体的 粘り強く経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって書こうとしている。	知･技(1)ア 言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。